

第175話 本町域の私塾・寺子屋④ 中山町歴史散策

柏倉栄七塾

時代は少し進み、南邱塾の近くに柏倉栄七塾が開かれました。『山形県教育史（上倉裕二編）』には柏倉杏庵と書かれています。三代喜兵衛の弟栄七（嘉永5年隠居、実蘭と改名）の長男利七がのちに杏庵と改名しました。自宅は柏倉喜兵衛の分家で、嘉永年中に塾を開きましたが、のちに岡の郷蔵（旧公民館）に移りました。町内で天領長崎の名主を長年務めた秋葉弥右工門の日誌の中に、師の名前（栄七）が度々登場します。同家を訪れた師は灸の医者でもありました。明治4年まで塾で教授していましたが、明治6年（1873年）に長崎小学校が創設された時、岡の旧公民館（当時の我覚庵）に分校が置かれ、請われた栄七は最初の教師を務めました。その後、明治18年に亡くなりました。

漆山清右衛門塾

岡村の柏倉九左衛門家は、堀田藩の大庄屋を務めた元文年間（1736年～1741年）の頃から、さまざまな文物にふれ、地元の子弟のために長屋門を私塾として開放していました。また、大曾根村上反田の漆山清右衛門を招いたのが嘉永年間（1848年～1854年）のことでした。教育の内容は「読み・書き・算盤」で、後から郷土に請われて反田学校の主席教授になりました。長屋門の私塾はやがて閉じられますが、大高持（大地主）の中には、村々の教育に関わった家が多かったそうです。

※引用 中山町史 中巻

第10章第2節 教育

【大曾根村上反田】…山形県東村山郡にあった村。現在の山形市中心部の西方、山辺町との境界付近にあたる。

私たち地域おこし協力隊です！ No.43

～今年の観光振興の取り組みとこれからについて～



皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の伊藤です。早いもので、地域おこし協力隊に着任して、ちょうど2年が経過しましたが、今年は、昨年よりも、協力隊活動をより具体的な形にしていくことを目的に活動してきました。

昨年5月からYou Tubeで毎週みらくるラジオなかやまの配信を開始、そのほか中山町の旅行商品づくりにも携わり、さまざまな関係者と商品づくりに向けて取り組みを実施、10月からは町が以前から取り組んできた芋煮のレトルト商品化の本格的な開発にも携わせていただいています。また、山形県の広域観光事業にも携わり、東北芸術工科大学と一緒に中山町エリアを中心とした村山地域広域エリアの旅行商品づくりにも取り組みました。

私としては中山町に貢献したいという気持ちで、そのほかさまざまなことに取り組ませていただいたつもりですが、数多くの方々にご支援や応援をいただいて今までなんとかやってこられたと思っています。本当にありがとうございます。

いよいよ、これから地域おこし協力隊の最後の年に入ります。最後の1年は、観光の目的の1つでもある地域経済への貢献に向けた企画や事業に取り組んでいきたいと思っています。こういった取り組みが、すべての人に完璧に満足がいくようなものにはならないと思いますが、『中山町の未来の観光』につながるきっかけになれば、私の協力隊としてのミッションは達成できたといえると思います。

また、私個人としても、今後のポストコロナ時代の観光、SDGsを含めたサステナブルな観光に関しても取り組んでいけるよう研鑽を積んでいきたいと思っていますので、皆さん、今後ともよろしくお願いいたします。

●協力隊への問い合わせ先● 伊藤 ☎662-2114（産業振興課）／ 稲垣 ☎662-2235（教育課）